

当院では、医師が診療に専念できる勤務環境を作るため、医師の負担軽減の取組みを行っています。

●外来診療負担

- ・ 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担を明確にし、医師の外来診療に係る負担を軽減する。
 - ① 看護師
 - ・ 静脈採血等の実施、検査手順の説明の実施
 - ② 精神保健福祉士
 - ・ 初診時の予診の実施
 - ③ 事務職員
 - ・ 入院説明の実施

●入院患者負担

- ・ 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担を明確にし、医師の入院診療に係る負担を軽減する。また入院患者の担当適正数を勘案し担当医師の負担の軽減を図る。
 - ① 看護師
 - ・ 静脈採血等の実施、検査手順の説明の実施、医師の指示による薬剤投与の実施、オーダリング内容のチェックを実施、入院療養上の説明の実施
 - ② 精神保健福祉士
 - ・ 入院療養上の相談業務の実施

●医師事務作業補助者の導入

- ・ 診断書・主治医意見書等の下書き作成。書類提出期限のスケジュール管理

●当直負担の軽減

- ・ 常勤医師の当直負担の軽減を図る。
 - ① 当直翌日の業務内容に対する配慮
 - ② 非常勤医師の活用の強化